

九州歴史資料館 学校向け出前授業・オンライン授業

九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした事業「出前授業」を実施しています。講座のテーマおよび内容は次のとおりです。社会科の授業はもちろん、修学旅行やフィールドワークの事前学習、総合的な学習の時間などにおいても、積極にご活用ください。テーマによってはオンラインでの対応も可能です。まずはご相談ください。

番号	テーマ	内容	対象		
			小	中	高
1	学芸員の仕事	「どんな仕事なの?」「学芸員になるためには?」疑問に答えながら、文化財を守る・伝える仕事についてお話します。 学芸員の専門分野(古代史、美術工芸、考古学、近代史、保存科学)によって、内容が異なります。	○	○	○
2	文化財発掘技師の仕事	「どんな仕事をしているの?」「なんのために発掘しているの?」そんな疑問にお答えします。	○	○	○
3	考古学の手法	出土資料の年代が、どうやってわかるのかについて、様々な方法を紹介しします。奈良時代や江戸時代の瓦の拓本体験も可能です。	○	○	○
4	縄文時代から弥生時代へー暮らしの移り変わりー	縄文時代から弥生時代にかけての人々の生活の移り変わりについて紹介しします。	○	○	○
5	土器(縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器・陶磁器)	縄文時代から中世に使われた焼き物の移り変わりについて紹介しします。		○	○
6	古代の大宰府について	古代(飛鳥・奈良・平安時代)の大宰府にかかわる歴史、ゆかりの人物などについて、お話しします。 大宰府の成立、斉明天皇と朝倉宮、水城と大野城の造営、律令制、地方支配の仕組みなど。	○	○	○
7	木簡と墨書土器について	大宰府を中心とする木簡、墨書土器など出土文字資料の世界と、その研究からみえる古代社会について、お話しします。	○	○	○
8	筑紫君磐井の乱	古代の日本列島統一過程での最大の内乱とも言われる筑紫君磐井の乱の背景と結果をお話します。		○	○
9	記紀神話について	記紀神話のあらすじを解説し、『古事記』『日本書紀』の成り立ちについてお話します。	○	○	○
10	大宰府と万葉集	万葉集にみえる福岡ゆかりの和歌や大伴旅人・家持父子の話を紹介しします。	○	○	○
11	大宰府と菅原道真 (天神さま)	菅原道真の生涯、太宰府天満宮と菅原道真の関係、福岡に伝わる天神伝承について紹介しします。	○	○	○
12	仏像の見かた	奈良や京都に行かなくても、意外と身近な所に、各地域の個性的な歴史の証人である古仏が存在しています。そんな古仏を紹介し、その見かたをお話します。	○	○	○
13	大陸から渡来した造形遺品	大陸との交流の最大の窓口であった九州には、他の地方には見られないような、大陸から渡来した仏像や石塔が多く存在しています。それらを通して、九州の歴史や文化の特質についてお話しします。	○	○	○
14	大宰府式鬼瓦について	古代九州を統轄した役所である「大宰府」で使用された大宰府式鬼瓦は、「大宰府」のシンボルであり、日本の鬼瓦の最高傑作です。大宰府式鬼瓦を通して、「大宰府」や古代九州のあり方についてお話します。	○	○	○
15	福岡県の近代	福岡県の近代(特に都市発展、鉄道建設、製鉄と炭鉱の盛衰)について、地図と絵葉書などから紹介しします。		○	○
16	オンライン社会科見学	「博物館バーチャル歴史体感ツアー」と題して、オンラインで館内や展示品の紹介を行います。歴史や文化財、博物館への興味・関心を高めることが期待できます。	○	○	○

【出前授業の活用にあたって】

- 担当学芸員等の業務の都合等で実施できない場合もありますので、予めご了承ください。
- 依頼の内容によっては、各市町村の文化財担当職員をご紹介します場合があります。
- ここに無いテーマについては、広報普及班までお問い合わせください。可能な限り学校側のご要望にお応えします。

【活用の方法について】

1 申込方法

- ①希望日の1ヶ月前までに、広報普及班までお電話にてご連絡ください。
- ②日程やテーマが決まりましたら、「出前授業」申込書をご提出ください。
※職印は必要ありません。郵送かメールでお送りください。
- ③実施に向けて、詳細を打ち合わせます。
- ④実施後のアンケートへのご協力もお願いいたします。

2 経 費

無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

3 問い合わせ先

九州歴史資料館 学芸調査室 広報普及班

TEL 0942 - 75 - 9501（学芸調査室直通）／FAX 0942 - 75 - 7834

九歴ホームページの「お問い合わせフォーム」からもご相談を受け付けています。